



長期滞在型・ロングステイ観光学会

NEWS LETTER

2016年度 第2号

2016年12月3日発行 通巻第2号

編集人・発行人：野口洋平

(理事会幹事 杏林大学外国語学部)
noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

【第1回全国大会】

本学会初の全国大会を次の要領で開催します。会員をはじめ、長期滞在型・ロングステイ観光に関心を持つ多くの皆さまの参加をお待ちしています。

開催日：2017年3月11日(土)

13:00～18:00

会場：帝京大学 八王子キャンパス
〒192-0395

東京都八王子市大塚 359 番地

アクセス：詳細は下記サイト参照
<http://www.teikyo-u.ac.jp/access/hachioji.html>

【発表者募集】

本学会の目的に合致した長期滞在型・ロングステイ観光に関する学術研究、事例報告、政策・事業提案にかかわるテーマであれば、自由にテーマを設定いただけます。

ただし、本学会の目的に合致しているか申し込み時に理事会による審査があります。

1. 発表カテゴリー

(1) 学術研究発表

長期滞在型・ロングステイ観光に関する理論的、方法論的に新規性のある内容であり、かつ他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。論文はまとまった研究成果を公表するものであり、その研究目的と結論が明示されていなければならない。また、先行研究のレビューがなされていること。

(2) 事例報告発表

長期滞在型・ロングステイ観光の現状・事例に関する考察及び問題提起など。考察の結果や問題提起の内容に実用的価値を有すること。なお、他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

(3) 提案発表

今後の長期滞在型・ロングステイ観光の研究及び実践に関する提案的内容であり、かつ他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

(4) 学生発表

学生による研究発表の報告。なお、他の刊行物において未発表のオリジナルなものに限る。

2. 応募資格

2016年度会費を完納した会員(連名発表者は非会員でもかまいませんが、筆頭発表者は会員である必要があります)。入会手続きをする場合は、2017年1月31日までに手続きを完了して下さい。

3. 応募方法

「発表者登録用紙」に、発表者氏名、所属、発表代表者連絡先、タイトル、使用希望機器、発表カテゴリー(「学術研究発表」、「事例報告発表」、「提案発表」、「学生発表」)の別、発表内容の要約(200～400字)を記入し、大会実行委員会事務局宛に電子メールにて送付のこと。

• メール送付先：
asjlt.takai01@gmail.com

(第1回大会実行委員会事務局)

※ 件名に「発表申込・氏名・発表

タイトル」と明記すること。

4. 応募締切

2016年12月15日(必着)

5. 発表者の決定と通知

2016年12月開催の理事会における承認後、応募手続きと会費納入の確認がとれた応募者のみに大会実行委員会事務局より通知します。

6. 発表原稿の提出と締切

発表が決定した応募者は、以下の要領で発表原稿を大会実行委員会事務局宛に電子メールで送付して下さい。発表原稿の書式については、別添執筆要項ならびに原稿見本をご参照ください。

• メール送付先：

asjlt.takai01@gmail.com

(第1回大会実行委員会事務局)

• 締切：2017年2月4日(必着)
発表論文の提出がない場合、発表を辞退されたものとして取り扱います。

7. 研究発表時間(予定)

発表15分、質疑応答5分(発表数等により変更になる場合があります)

【理事会報告】

①2016年度 第2回理事会

2016年6月18日(土)15:00～17:00

／(一財)ロングステイ財団 ミー

ティングスペース／出席者：岡本伸

之の会長、安島博幸副会長、泉正史、

福永佳津子、柵木鬼美夫、溝尾朗、

山田美鈴(以上理事)、大下茂、神末

武彦(以上監事)、金振晩、鈴木涼太

郎、古本泰之、花井友美(以上幹事)、

佐藤博之(一般財団法人ロングステ

イ財団)／欠席者：旭岡叡峻、篠崎

宏、丹治朋子、橋本佳典、船山龍二、

弓野克彦(以上理事)、野口洋平(以

上幹事)／委任状：6通

• 議事に先だって、岡本会長より
開会の挨拶がありました。

1. 分科会の審査について

• 資料1～3(分科会の審査方法、
分科会の申請書、分科会の審査
結果)に基づき、当日13:00か

ら行われた分科会審査委員会による審査結果案について、鈴木幹事が説明しました。

- 同審議事項について、以下の質疑応答、意見が出されました。
- 次回の分科会募集要項における修正・検討事項として、①3万円以上の備品の購入は不可とする、②1件あたりの助成金の上限を10万円とする、③審査基準を事前に公示する、④申請書に研究計画、助成金が下りない場合の対応(助成金なしで分科会を実施するか、否か)を追加する、また、捺印は不要とする、⑤複数の分科会への応募(代表申請者として)は不可とする、の5点が決まりました。
- 分科会の審査について、7件の応募のうち、4件を採択(1件は条件付き採択)することが決まりました。

2. 全国大会の日程について

- 金幹事は、全国大会の日程と場所の候補(2017年3月4日(土)帝京大学八王子キャンパス)を説明しました。

②2016年度 第3回理事会

2016年10月1日(土)10:00~12:00 / (一財)ロングステイ財団 ミーティングスペース / 出席者: 岡本伸之会長、安島博幸副会長、旭岡叡峻、泉正史、福永佳津子、柵木鬼美夫(以上理事)、神末武彦(以上監事)、金振晩、鈴木涼太郎、花井友美(以上幹事)、佐藤博之(一般財団法人ロングステイ財団) / 欠席者: 篠崎宏、丹治朋子、橋本佳典、船山龍二、溝尾朗、山田美鈴、弓野克彦(以上理事)、大下茂(以上監事)、古本泰之、野口洋平(以上幹事) / 委任状: 7通

- 議事に先だって、岡本会長より開会の挨拶がありました。

1. 会員状況の確認

- 2016年10月1日現在の会員数について、金幹事より報告が

ありました。

- 正会員 52(+6)、一般会員 14、準会員 1、賛助会員 12(+1)、会員総計 67、賛助会員総計 12(括弧内は2016年5月時点からの増減)
2. 全国大会の要綱について
 - 資料 1~2(長期滞在型・ロングステイ観光学会 全国大会運営案、全国大会原稿テンプレート)に基づき、金幹事が説明しました。
 - このあと、同審議事項について、以下の質疑応答、意見が出されました。
 3. 分科会の中間報告について
 - 金幹事より、中間報告書の提出(10月末締切)または公開発表会の実施について報告がありました。
 - 理事会開催時点で2件の中間報告書が提出されていました。
 4. 分科会のWeb 掲示について
 - 金幹事より報告がありました。
 - 今年度の分科会の紹介、聴講可能な勉強会や研究会への問合せ先(事務局または代表申請者)を長期滞在型・ロングステイ観光学会のWeb で案内します。
 - 来年度以降は、分科会の募集時に聴講可能な勉強会や研究会の開催の有無とその場合の連絡先の記入を求めます。
 5. ニュースレターの発行について
 - ニュースレター第2号の発行について金幹事が説明しました。
 6. その他
 - 今回は、2016年12月17日(土)15:00~17:00、(一財)ロングステイ財団 ミーティングスペースで開催予定です。(以上)

【事務局より】

本学会では新規会員を募集してい

ます。お近くに関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

本学会に入会するためには、所定の入会申込用紙を送付いただいた上で、理事会で承認された後に入会登録手続きを行います。入会の通知は、許可後に郵送にてお送りいたします。入会希望者は、下記要領をよくお読みの上、入会申込書を下記事務局まで郵送して下さい。

「入会のご案内」

<http://www.asjlt.jp/entry/entryinfo>

■入会について■

一般財団法人 ロングステイ財団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-1 虎ノ門第一法規ビル7階
電話 03-3591-8144

FAX 03-3591-8166

メール info@asjlt.jp

■入会後のお問い合わせ■

帝京大学 経済学部観光経営学科
金研究室

〒192-0395

東京都八王子市大塚 359 番地

電話 042-678-3363

メール society@asjlt.jp

【編集人・発行人より】

長期滞在型・ロングステイ観光学会のニューズレター(会報)では、会員の皆さんからの情報を募集しております。

学会の目的に合った情報、会員のあいだで共有すべき情報などをお寄せいただきたいと思います(掲載の可否は理事会で決定します)。

編集人・発行人: 野口洋平

(杏林大学外国語学部 准教授)

〒181-8612

東京都三鷹市下連雀 5-4-1

杏林大学外国語学部

電話 0422-47-8000(代表)

FAX 0422-47-8077(共用)

メール noguchi@ks.kyorin-u.ac.jp

